

「Made in Gifu」を
柳ヶ瀬から発信！

「世界にひとつ」 それが魅力です



ペルルバロック
店主 宮本ちいこさん

岐阜市日ノ出町、柳ヶ瀬楽天地通りにレンガを基調としたシックなお店があります。ここはバロックパール専門店「ペルルバロック」。店主は宮本ちいこさん、49歳。ネット通販からはじまり「やながせ倉庫」出店を経て、2015年、念願の個店を開店しました。

バロックパールとは「丸くない、いびつな形の真珠」のこと。

宮本さんは結婚後、長らく家事に専念するなかでいつしか「何か自分でできる仕事がないか？でも何をしたいのか？どうしたらいいのか？」と考えるようになっていきました。

転機が訪れたのは39歳の時でした。ご主人の転勤で中国へ。その際、現地でお世話になった女性がしていたちよつと変わった形のパールのネックレスに「かわいい！」と一目惚れしたのが「バロックパール」との出会いでした。

すぐにどこに売っているのか教えてもらい、電車やバスを乗り継いで向かった先は、江蘇省のパール市場でした。

そこでさまざまなバロックパールを目にした宮本さんは、その自然に

できた、世界にひとつだけの形も色も違う個性的なかわいらしさと、手に取りやすい価格にたちまち心を奪われてしまいました。

リーマーケットやクラフト系のイベントに商品を出展してみること。すると、お客さんと話をする楽しさと商売の手ごたえをリアルに感じる事ができました。

「バロックパールで仕事をしたい。」

宮本さんはこの時、ようやくずっと胸の内にあった「何か自分で仕事したい」という夢の扉に辿りつきました。

そして2009年、中国産淡水パールのネットショップ「CROSS OVER ROAD」をオープン。

しかし、その頃は人との交流は全く無く、話す相手は家族のみ。「ずっと家に引きこもっていました」と当時を振り返ります。

そんな生活にストレスを感じ、フ

設され、そちらに出店することに。

しかし家賃は上がります。知恵を絞り思いついたのが「レンタルBOX」という箱貸しの委託販売でした。

「イベントで知り合った人たちが、やながせ倉庫に集う人たちには作ることが大好きだけれどお店を持つことは無理だと思っている人がたくさんいることを知っていたので、いけると思いました」

時代はハンドメイドブーム。今まで買う側の人たちが気軽に作って売る立場になれることもあり、50余り用意したブースはすぐにいっぱいになりました。

その後、充電のために店を閉めました。この宮本さんのアイデアによる実店舗販売は、今も「やながせ倉庫団地」として更に数を増やし、約180店舗が繋いでいます。

そして充電期間が明け、いよいよ一昨年初、柳ヶ瀬商店街の楽天地通りに、新たな店舗を構えることとなりました。

柳ヶ瀬の人は元気があって面白くパワーがあります。まさに宝の宝庫です。

「やながせ倉庫」の通路店舗からはじまって5年。

今ではすっかり「柳ヶ瀬の顔」の一人となり、柳ヶ瀬ジュラシックアーケードや殿町ハロウィンの実行委員も経験しました。

また、楽天地通り商店街の人たちをとりまとめて「楽天地通りMAP」も手作りで作成しました。

「私はまだまだ柳ヶ瀬のなかでは新入りです。商店街の人たちは、こんな私を娘のように受け入れてくれる懐の大きさがあり、とても大事にしてもらっています」

そんな宮本さんが今、熱心に取り組んでいるのが「ワークショップ」です。真珠と聞くと「高級そう？」と感じる方にお店に入りやすさを感じてもらえるよう、当所主催の「おしえ店長サン」をはじめ、「サンデービルディングマーケット」などのイベントや来店されたその場でも手軽に「手作りアクセサリ」を楽しんでもらえるようなワークショップも日常的に開催しています。

ワークショップに参加される方の年齢性別は幅広く「将来有望な小学生の男の子をみつけたんです！」などと、嬉しい出会いも拡がります。

「実店舗はどこにあるんですか？」イベント時に多くの方にそう聞かれるようになり、岐阜市内のイベントに多く参加し、お気に入りのショップがあったことなどの理由から「柳ヶ瀬」で店舗探しをはじめました。そんななか、雑誌でみつけたのがおもちゃ箱のようなスペースで何より家賃が安い「やながせ倉庫」でした。早速問い合わせると、空き店舗は無し…。ところがなんと「通路」を格安で貸してもらえることになりました。これが「実店舗」のはじまりでした。

その後、やながせ倉庫3号館が新

夢は、バロックパールの魅力を全国に「拡散」させること

パールは女性にとって、恋や美のお守りにもなる宝石。

「バロックパールを通して一人でも多くの方に、ほんのちよつびりでも幸せのおすそわけができればいいな」

そんな想いを抱き、宮本さんは今、バロックパールを広めるための「アイデア」を鋭意探求中！

「柳ヶ瀬をはじめ岐阜には素敵なお店がたくさんあります。例えばそんなお店と異業種コラボをしたりして：なんて、次々考え出したら楽しくて！」

さあ、どんなアイデアが飛び出すでしょう。きつと次の「作戦」も、大ヒットとなった

「やながせ倉庫団地」のように多くの方の笑顔が溢れるに違いありません。

小規模事業者持続化補助金申請準備中！

宮本さんは、これまでも新しいアイデアをひとつひとつ実現させてみえます。SNSでの「拡散」のように、宮本さんならではの新たなアイデアとパワーでバロックパールの魅力を柳ヶ瀬から全国に「拡散」させられるよう、全力で支援していきます。



浅野経営支援員